

## 4 地域づくりの方針

- 田中地区のつながりを大切にして、住民、区、各種団体がそれぞれに自らできることを実践し、不足するものについては周囲と助け合える関係性をつくります。
- 田中駅周辺、海野宿、東御市の中心部として充実している社会インフラといった地域資源を有効活用し、産業を元気にするとともに、地域交流や地域教育にも活かします。
- 親・子・孫世代、近隣住民が触れ合う中で、田中地区の魅力や引き継がれてきた価値観をコミュニティの中で共有します。
- 最終的には、田中地区の確かな基盤のある暮らしを維持・発展させ、若い世代が戻る、あるいは入ってくる地域をつくります。



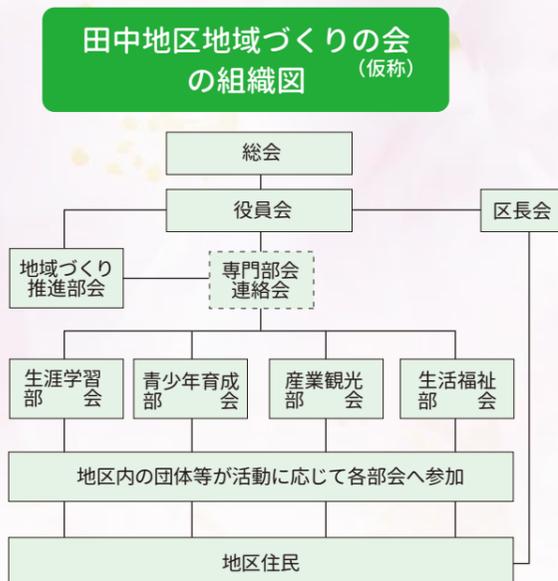
(田中駅に停車している「ろくもん」)



(ワークショップの様子 H27.10.25)

## 5 将来像を実現するための推進方法

- 将来像を実現するため、田中地区の住民一人ひとりが関心を持つとともに、区長会や各種団体等が連携して、具体的な取り組みを推進します。また、行政と協力して進めていきます。
- そのための仕組みづくりとして、**コミュニティの再構築（田中地区地域づくりの会（仮称）の設立）**に取り組みます。
- そして、「だれが、いつまでに、何をするか」を明確にして、住民が一丸となって実現を目指します。特に、若者や女性、移住者が積極的に関わることができる活動を展開します。



※この組織図は、現段階のイメージ図として示したもので、変更となる場合があります。



# 田中地区の地域ビジョン

みんなで共有・みんなで実行

### はじめに

私たちが安心して将来も住みたいと思える地域は、住民みんなで考え、住民みんなで行動していくことで実現します。そのため、田中地区では、「田中地区地域づくりの会（仮称）設立準備会」を発足させ、地区内の住民の皆さんや各種団体が連携し、区や団体の枠を超え、自分たちの地域の課題解決や将来像の実現を図る「新たな地域づくり組織」の設立準備を進めています。そのスタートとして、住民の皆さんの意見をもとに、地域が抱える課題や問題を整理し、地域の目指す姿をまとめた「地域ビジョン」を作成しました。

住民みんなで共有し、住民みんなで実行していきましょう！

田中地区地域づくりの会（仮称）設立準備会の構成団体

区長会、分館長会、田中小学校、小学校 PTA、青少年育成協議会、民生児童委員協議会、商工会田中支会、生涯学習推進委員会

平成 28 年 3 月

編集・発行：田中地区地域づくりの会（仮称）設立準備会

# 1 現状と課題

## I 地域の支えあいについて(地域活動、子育て、福祉など)

- 良い点**
  - 区の組織がしっかりしており、自治会や公民館活動が積極的に行われている
  - 近所付き合いを大事にし、支えあいの力がある
  - 伝統的な行事、地域の風習を大切にしている
  - 子ども達の成長を地域が支える取り組みがある
  - 若い人が少しずつ増えている
- 気になる点**
  - 田中地区としての一体感が弱い
    - ・区同士のつながりや交流、情報交換が少ない
    - ・地理的に地域がまとまりにくい
  - 近所付き合いが希薄になっている
  - 新旧の住民のつながりが弱い
  - 高齢化が進み、地域活動が大変になっている
  - 区の役員の成り手がいない
  - 若者世代の地域活動への参加が少なくなっている
  - 若者が出て行ってしまふ
  - 少子化が進み、子どもの声が減っている
  - 空き家が増えている



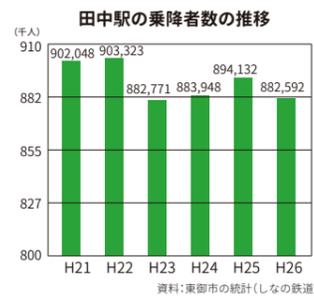
(消防訓練)

住民、区、  
各種団体がつながる  
一体感のある田中地区

にぎわいのある  
田中商店街  
(田中駅周辺等)  
の再興

## II まちの玄関口「田中駅、田中商店街」について

- 良い点**
  - 田中駅や商店街があり、人の往来が生まれやすい
    - ・田中駅というまちの玄関口がある
    - ・市内で唯一の商店街があり、市民まつり等も実施されている
- 気になる点**
  - 田中商店街の活気がなくなっている
  - 駅周辺が車で渋滞する、駐車場が少ない



## III まちを代表する観光地「海野宿」について

- 良い点**
  - 海野宿という強力な地域資源がある
    - ・歴史ある古いまち並みが残っている
    - ・多くの観光客、見学者が訪れている
    - ・区民全体が関わる祭りが開催されている
    - ・子ども達の地域学習の場になっている
- 気になる点**
  - 海野宿の観光客の数が伸びず、活気が失われている
  - 観光客に対して、店や常設ガイド等が少なく、海野宿の資源を使いきれていない



多くの  
観光客が訪れる  
海野宿の実現

## IV まちの中心地(商業、交通、公共施設など)について

- 良い点**
  - 市の中心で各種施設が充実し、住みやすい
    - ・市役所、文化会館、銀行、病院が近くにある
    - ・保育園、子育て支援センター、公園があり、子育て環境が充実している
    - ・小中高に加え専門学校もある
    - ・交通の便がよい(国道、田中駅)
    - ・買い物の環境が整っている
    - ・コンパクトで災害が少ない
- 気になる点**
  - 働く場所が少ない
  - デマンド交通が上手に活用されていない
  - 道路が狭い
  - 特筆すべき地域の特産品がない
  - 商店街を訪れる人が少ない

市の中心地として  
活気のある  
まちづくりの推進

# 3 実現させたいこと

## ① 地域活動によるつながりの強化

- ・高齢者と子ども達と一緒に集える場所をつくる
- ・子どもから高齢者まで参加できる地域行事を企画し実施する
- ・空き家等、現在使われていない施設を誰もが自由に集まれる拠点として活用する
- ・「ふるさと散策」で再発見した史跡等をマップ等にして地区全体で共有する
- ・若い世代や女性の声が届く地域をつくる

## ② 地域が取り組む子育て支援

- ・現在各区で行なっている「見守り隊」の活動を地区全体にまとめて、小中学生を見守る
- ・通学路の安全を確保する
- ・小学校と地域の連携を充実させる

## ③ 高齢になっても住み続けられる環境づくり

- ・高齢者の憩いの場やたまり場をつくる
- ・中年層から取り組める健康づくりを行う
- ・お互いが助け合って生活できるまちをつくる
- ・高齢化によって区の運営が困難な区の統合を図る

## ④ 若者が集まる、活気のあるまち

- ・若い世代が集ってくる地域をつくる
- ・若者が住みやすいまちづくりを目指す
- ・地域のコミュニケーションを活発にする

## ⑤ 子どもが将来「ここに住みたい」と思える地域づくり

- ・このまちに住めることを誇りにできるまち、地域への愛着心が育まれるまちをつくる



(田中区の見守り隊)

## ① 関係団体が一体となったイベントの実施

- ・商工会と田中商店街が中心になって地域も協力して、イベントの開催によるにぎわいを創出する
- ・子ども達が顔を出せる、明るく元気な商店街を地域住民みんなで実現させる



(田中ぎおん祭)

## ② 利用しやすい田中商店街、田中駅の実現

- ・空き店舗等を活用し休憩場所の設置や田中駅付近に宿泊施設の設置を推進する
- ・商店街や駅周辺の案内マップを作成する
- ・駅のバリアフリー化を推進する
- ・駅前の混雑解消を推進する

## ① 海野宿におけるおもてなし力の向上

- ・観光客向けに、海野宿を中心とした田中地区の歴史探訪を推進する
- ・観光ガイドマップの作成と市内観光地相互の連携を図る
- ・海野宿の空き家対策を推進する

## ② 海野宿の魅力の積極的な発信

- ・田中商店街と海野宿の連携を図る
- ・千曲川を活用する
- ・海野宿を全国にアピールする



(デマンド交通)

## ① 活気のあるまちづくり

- ・恵まれた地域資源(商店街、海野宿、田中駅等)を活用して、人が集まる市の中心部の形成を推進する
- ・市民まつりの名称変更や花火大会の復活を推進する
- ・田中地区の特産品づくりを推進する

## ② デマンド交通の有効活用

- ・デマンド交通のPRと活用を推進する

## ③ Iターン、Uターンの推進

- ・田中地区に企業等の誘致を推進する
- ・帰って来たい、移住したいと思える暮らしやすい地区の実現を目指す(道路整備、商店街の活性化、区の運営システムの見直し等を推進する)

※この将来像は、「田中地区の将来を考えるワークショップ(H27.10.25)」の出席者や東御清翔高校の生徒、長野救命医療専門学校の学生の意見をもとに、まとめたものです。

# 田中地区を知ろう、歩いてみよう!

～多くの人たちに訪れてもらいたい各区の地域資源マップ～

田中地区は、市役所や学校、駅、商店街等がある市の中心地区です。地区内の8つの区(加沢、常田、田中、県、本海野、西海野、白鳥台、城ノ前)には、伝統や歴史があり、今でもたくさんの史跡等が残っています。また、区民の絆があることから、住民が集う場所もたくさんあります。

そのため、このマップはこれらの一部を紹介し、各区を散策してもらう・関心を持ってもらうきっかけになればと思い作成しました。新たな発見と感動、そして地域への愛着が生まれることを期待しています。



**①中曽根親王塚古墳**  
この古墳は、方墳に属し大塚(王塚)或いは丸山と言われています(墳丘の基底部一辺が52m前後、墳頂部各辺が約12m、高さ約11m。方墳で県下最大、国内9番目の大きさ)。竪穴式石室があると考えられ5世紀後半に製造されたと考えられています。(長野県史跡)



**②願行寺(浄土宗)跡地**  
古来千曲川太鼓淵の水底に一光三尊の阿弥陀如来を住民が見つけ、その如来のために海野氏(真田氏の祖先)により現西海野岩下に一寺を建立したのが「願行寺」のはじまりと言われており、1541年(室町時代)に焼失されたと考えられています。その後、真田昌幸により焼失を免れた本尊とともに上田市横町(海野町の東側)に再建され現在に至っています。



**③媒地像尊(なかだちじそうもん)**  
通称「縁結び地蔵」。加賀藩の前田侯の参勤交代の道中にお参りしたところ、良縁に恵まれないでいたお姫様が、無事結婚できたという縁結びの霊験が伝わります。出会いの仲をとりもつ「なかだち」のお地藏さんとして慕われています。



**④白鳥神社**  
海野氏・真田氏の氏神として祀られた神社です。境内のケヤキの大木は樹齢700年を超えると言われてます。(社叢は東御市天然記念物、本殿は東御市有形文化財)



**⑤白鳥台団地竣工記念彫刻塔**  
白鳥台団地の入り口に、昭和40年の団地竣工を記念した女神像が建てられています。肩に白鳥が止まっていますが、孝行娘と白鳥の伝説、白鳥神社等由来は様々です。新たなまちの出発に期待を膨らませた当時の住民のみなさんの気持ちが伝わってきます。



**⑥諏訪神社**  
元は諏訪社と言われていましたが、明治11年(1878年)に諏訪神社と改称されました。明治12年に本社、祝詞殿、拝殿を建て替えて今日に至ります。現在は、山車の収納所として、また、境内に土俵をつくり、毎年「子供相撲」の場所として区民に親しまれています。



**⑦針ノ木沢湧水**  
あがた御膳水公園内の「針ノ木沢湧水」は、明治11年(1878年)に明治天皇が御巡幸の際、御接待の飲料水とされ、その時の記念碑が建てられています。以後、「御膳水」と言われるようになりました。昭和45年(1970年)頃には日量450tと記録されていますが、現在は減っています。(東御市天然記念物)



**⑧でいだらぼっちの足跡**  
でいだらぼちは、立てば頭が雲の中に隠れる程の伝説上の大男です。太古の昔、烏帽子に腰かけ、八重原台地の方を見渡していると、千曲川の流が「単調」と感じ、土をすくって川の南側に置きました。土をすくったところが松原湖、置いたところが下八重原の外山、踏ん張った足跡がこの石に残ったものとされています。縄文時代を代表する凹石で、当時の共同作業場であったものとも考えられています。



**⑨大神宮の大桜**  
原公園の中に樹齢百数十年と言われている「桜の木」が2本あります。開花の時期には、運動会や花見で賑わいます。加沢区の自慢です。



**⑩加沢の念仏講**  
毎年、大寒の頃、念仏堂で「加沢寒念仏」が行われます。区民が寄り合い念仏を唱え、「無病息災」「家内安全」を祈願します。当日は、百万遍念仏を唱えることができるように進めています。(東御市無形民俗文化財)



**⑪城ノ前公園**  
昭和53年に発足した城ノ前区にある「城ノ前公園」は、昭和57年に開設されました。樹木も年々成長し、落ち着いた雰囲気のある公園となりました。近くの田中保育園の園児の皆さんも時々散歩の途中で立ち寄ってくれます。



**⑫常田の剣持道祖神**  
市内数多くの道祖神の中でも、この道祖神は県内でも特に有名です。左の男神の握る剣を、右の女神のはかまの折り目に当てています。男女の深い愛情を、大胆に表しています。米粉などで「おしろいを塗る」風習もありました。(東御市有形文化財)



至丸子・松本方面

